

---

# 君との思い出

マリモ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

君との思い出

### 【Nコード】

N4228B

### 【作者名】

マリモ

### 【あらすじ】

突然いなくなった君（彼女）を思って書いた作品です。

(前書き)

初めて書いた作品で誤字脱字や表現のおかしい文章もありますが読んでみてください。感想ももらえると嬉しいですよ

君と共に過ごして始めて1年、

君と過ごした日々……今はもう届かないこの声

君との思い出を忘れようとも忘れられない……

君は一人僕を置いて行ってしまった……小さな一切れの書き置きと共に。

『夕飯の買い物に行ってきました。少しまってね』  
と、可愛い字で書かれていた。

でも君が帰ってくることは無かった。

それで僕は全てを悟った。君はもう帰ってくることはない。と……

君は一足先に旅立った。突如訪れた君とのさよなら

忘れはしない君の笑顔、  
泣き顔、

そしてなにより君を愛していた僕の気持を……

君は買い物を終えた直後の横断歩道で信号無視をしたトラックに跳

ねられていた……

君が先に逝った時、僕も後を追おうと思った。しかしできなかった……君が最期に書いておいた文章を病院で医者から渡されたからだ……内容は

『この先なにが起こっても必ず死んではいけないよ。いつまでも元気でいてね。』

この文を読み涙が止まらなかった。この文があったから今の僕がいる。

君は最後の最期まで僕の心配をしてくれてたね。

『ありがとう』

どれだけ君に伝えたかっただろう……

今では叶わぬセリフ……君を思い君だけにとびきりの『ありがとう』を

あれから3年の月日が流れた……僕には今新たに大切な人ができた。

でも君とのことは絶対に忘れはしない。

これからもずっとずっと僕を見守っててね。

そして僕がそっちに行ったら仲良くしてね。

E  
N  
D

(後書き)

読んでいただきありがとうございます。よろしければ感想をください

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4228b/>

---

君との思い出

2010年10月23日13時19分発行